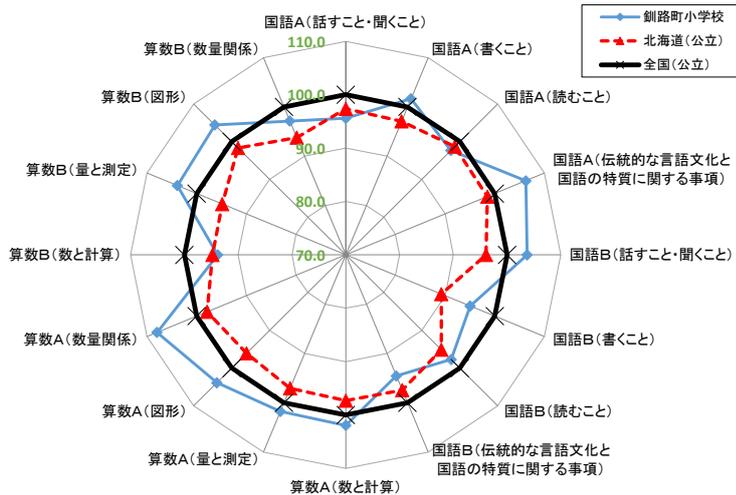


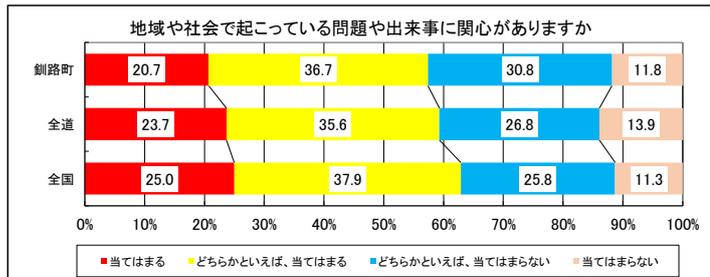
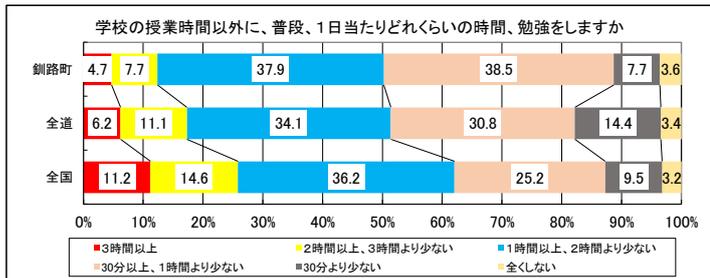
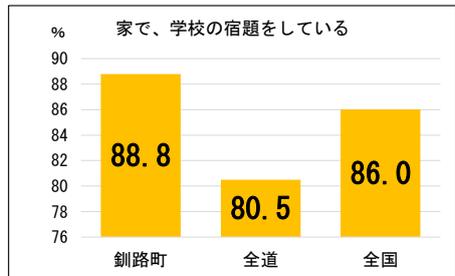
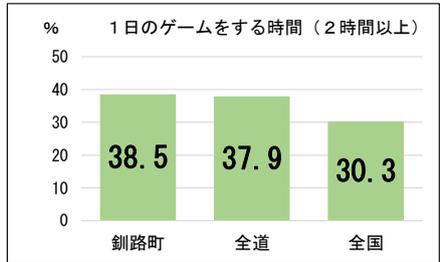
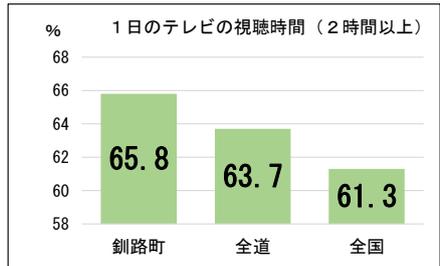
■ 釧路町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:169名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語B「話すこと・聞くこと」、算数A「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」、算数Bの「量と測定」「図形」の正答率が全国と比べて高い。	○ 家庭学習のしおり等を活用した指導や宿題を与えることで、家庭での学習習慣は定着傾向にある。しかし、学習時間が少ないことから、生活リズムの改善を家庭と連携して進め、宿題以外の学習が主体的に自分で進められるように指導の徹底を図る。
児童質問紙	○ テレビ、ゲームの時間が多い傾向にある。 ○ 家庭学習の時間が少ない傾向にある。 ○ 家で学校の宿題をしている児童が増加傾向にある。 ○ 地域や社会への関心が薄い傾向にある。	○ 児童に地域のよさを実感させるために、学校支援地域本部事業等を活用し、学校と地域のつながりを深める取組が必要である。
学校質問紙	○ 家庭での学習方法等を具体例を挙げ、指導している学校が多い。	

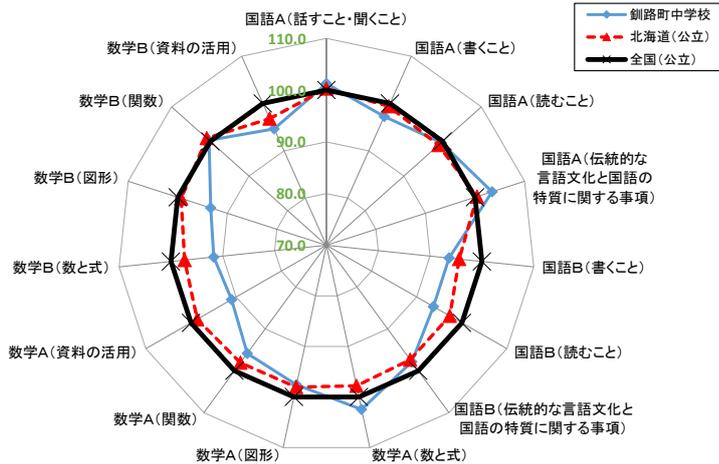
【釧路町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するため、小中連携の強化
- ◎ 家庭を巻き込み、望ましい生活習慣の確立に向けた活動を充実
- ◎ 授業改善、補習授業等の推進を図るため、教員力向上研修、学力向上セミナー、教務担当者会議等を通じ、町全体としての取組を充実

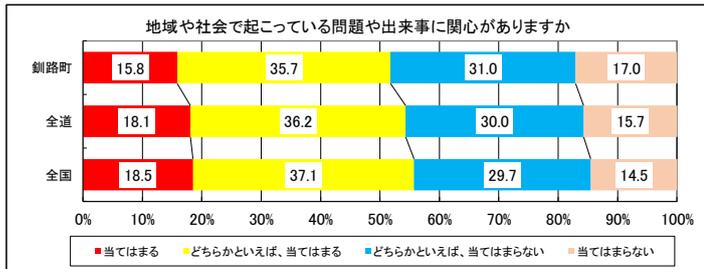
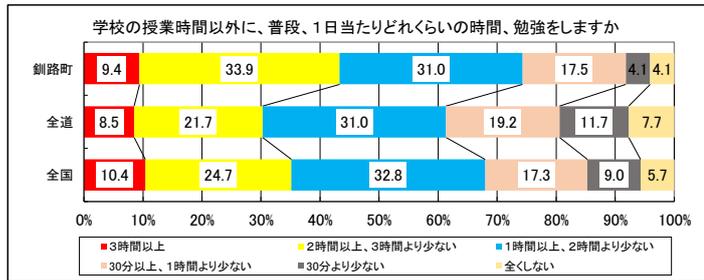
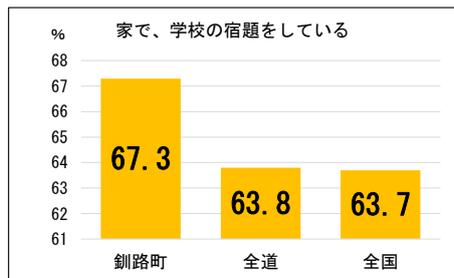
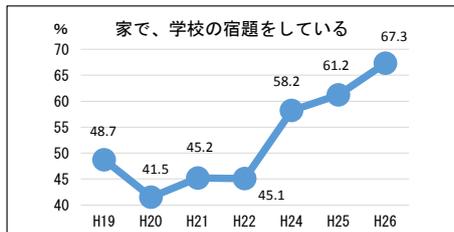
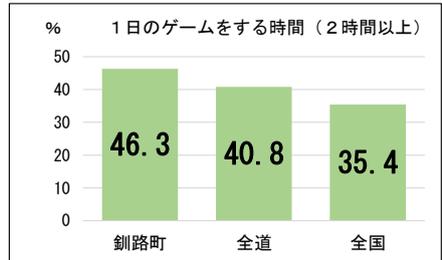
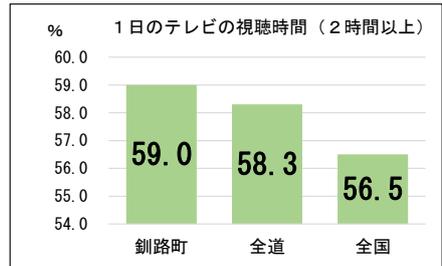
■ 釧路町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:171名)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学A「数と式」、数学B「関数」の正答率が全国と比べて高い。 ○ 特に数学Aの「資料の活用」に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習のしおり等を活用した指導や宿題を与えることで、家庭での学習習慣は定着傾向にある。しかし、学習時間が1時間未満の生徒が25.7%いることから、生活リズムの改善を家庭と連携して進め、宿題以外の学習が主体的に自分で進められるように指導の徹底を図る。 ○ 生徒に地域のよさを実感させるために、学校支援地域本部事業等を活用し、学校と地域のつながりを深める取組が必要である。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ、ゲームの時間が多い傾向にある。 ○ 家庭学習を2時間以上している生徒が多い傾向にある。 ○ 家で学校の宿題をしている生徒が増加傾向にある。 ○ 地域や社会への関心が薄い傾向にある。 	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭での学習方法等を具体例を挙げ、指導している学校が多い。 	

【釧路町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するため、小中連携の強化
- ◎ 家庭を巻き込み、望ましい生活習慣の確立に向けた活動を充実
- ◎ 授業改善、補習授業等の推進を図るため、教師力向上研修、学力向上セミナー、教務担当者会議等を通じ、町全体としての取組を充実